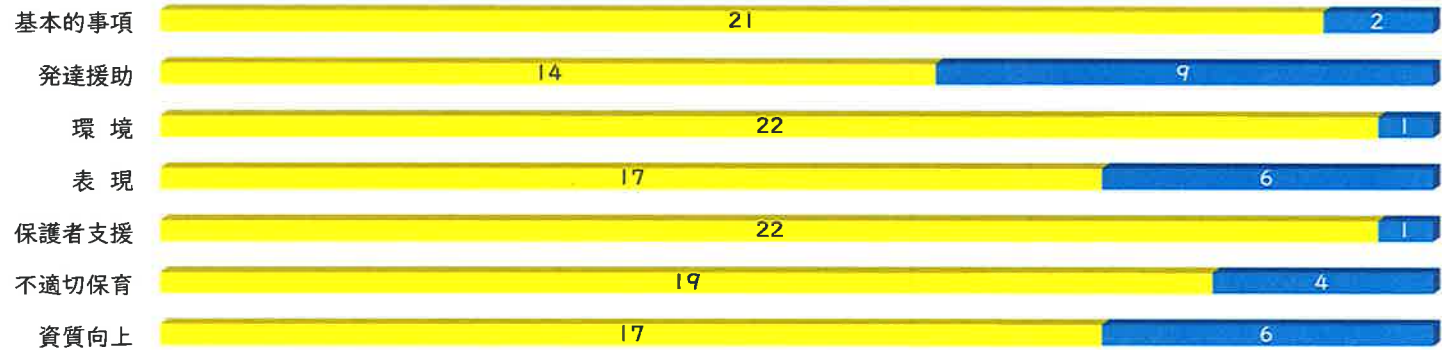


自己評価（非常勤保育士） ※一部抜粋

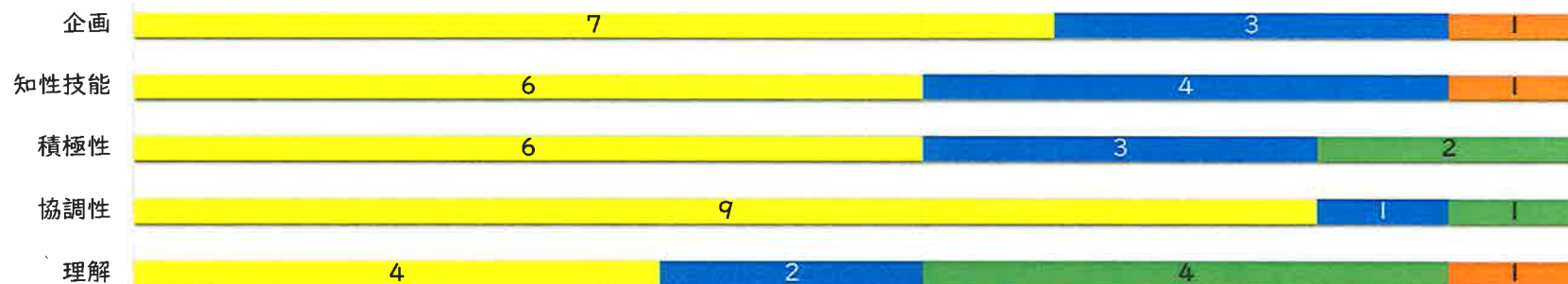
要素	評価項目	自己評価			
		よくできた	おびねってきた	あまりできていない	できていない
基本的事項	子どもの人権に十分に配慮するとともに、子ども一人一人の人格を尊重して保育を行っていますか	21	2		
発達援助	外遊びや散歩など戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか	14	9		
環境	保育士の言動一つ一つを子どもはモデルとして学んでいることを知っていますか	22	1		
表現	言葉の楽しさや美しさに子どもが気づけるような読み聞かせを行っていますか	17	6		
保護者支援	子どもの日々の健康状態を把握したり情報を共有し、保育を行っていますか	22	1		
不適切保育	物事を強要するようなかかわりや脅迫的な言葉かけをしていませんか	19	4		
資質向上	自分の保育を振り返り、問題点や課題を見つけることができていますか	17	6		



自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ★数回同じ年齢のクラスを受け持ったことで気づいたことも多く、得た知識を若手の先生に伝えることができた ★大きなケガもなく無事に過ごすことができてまずは安心して保育。子どもや保護者さんの気持ちに寄り添い会話したりノートのやりとりができた ★書類・提出物も早めに提出することができた ★少人数でのびのびとした保育ができてよかった ★子どもたちの限界や可能性を少し低めに設定していた部分があったように感じている。これからはたくさんのことに挑戦し、もっと可能性を広げていきたい ★フリーで全年齢児と関わることで発達段階の再確認ができた ★自分でできることは自分でやってみようという声かけを重点的に行ったら子どもたちの成長をものすごく感じた ★児童発達支援施設との交流で連携しながら保育を行っていくことで知識がついた ★フリーでいることでクラスの保育の悩みなどを一緒に考え共有することで担当が保育しやすいようにサポートができた ★絵本の読み聞かせを多く取り入れ、言葉の発達や情緒の安定につながったと感じている ★複数担任だったがチームワークがよくとれた ★いろいろな戸外遊びを計画し、また実施できた ★トイレトレーニングやできるだけ自分でやってみることなど取り組む課題は多かったが、個々のペースですすめるというスタンスを維持することができた ★イヤイヤ期や自我の芽生えの時期で対応に苦慮することがあったがしっかりと対応できた ★こどもの日常を伝え合う中で子育てに関する悩みなど相談を受けるようになり信頼関係が築けた ★子どもとのかかわり方や声かけに今のは失敗かもと感じることもあったが、どうしたらよかったのかを考え自分なりに成長できたと感じた
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ★手遊びのレパートリーを増やしたい ★ピアノの上達 ★もっと自然と触れ合う機会をもつ ★こどもたちの「やりたい」や「楽しかった」を引き出せる保育をしたい ★子どもたちを見習って自分も日々成長したい ★今年度の失敗や最後までやり遂げられなかったことを新たに目標に設定し挑戦をしたい ★集団生活の中でも個別対応の大切さを実感している。子どもを取り囲んでいる環境にも配慮して適切な援助を行い、いかに保護者に安心していただけるかを念頭に置き保育にあたっていく ★ペープサートのレパートリーを増やす★スキルアップと保護者支援★身辺の自立ができるように声をかけ自信を持たせていく ★職員同士、助言や相談をしやすくされやすい雰囲気や心かけ連携を深めていく ★保育を通してこどもたちにたくさんの体験させること ★書類の提出が遅くなりがちなので早めに取り組む

自己評価（保育士以外） ※一部抜粋

要素	評価項目	自己評価				
		よくできた	おおよそできた	できた	あまりできていない	できていない
企画	仕事の目的を達成するため効率的な仕事をしたか	7	3		1	
知性技能	仕事をしていく上に必要な専門知識を持ちこれを応用する力をもっていたか	6	4		1	
積極性	自主的に業務を工夫し実践できているか	6	3	2		
協調性	同僚との協力精神はあったか	9	1	1		
理解	定期的に自己評価を行い、改善と目標設定に努めたか	4	2	4	1	



自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ★保育士と一緒に遊びのサポートができた。事故もなく安全に保育ができた（看護師） ★持病を持った子への配慮が最初は難しかったが、保護者さんとのやり取りの中で具体化して個別のマニュアルを作成することができた（看護師） ★自らの口で症状を訴えることができない小さい子に対して常に気を配り見守っていくことや自己研鑽の必要性を大きく感じた（看護師） ★衛生管理が徹底的にできた（調理師） ★個々の発育が違うためそれぞれが食べやすい形態で提供することが大変だった（調理師） ★離乳食・病児食に細心の注意を払い無事に提供できたことが良かった（調理師） ★前年度よりさらに栄養価や食材のバランスなどに留意しながらやってきたがまだまだ改善の余地はあると思う ★仕事が増えていく中で効率化を考えられなかった部分がある
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ★子どもたちの笑顔で1日が終わるように安心安全な保育を心がけていく ★情報収集・情報共有がクラス全体・園全体ででき、安全な保育へとつながるよう看護面からサポートしていく ★給食を作って終わりではなく子どもたちが食べているところを見に行く回数を増やし、食育につなげたい（調理師） ★アレルギー児の増加による誤食が起きないようにチェック体制を強化していきたい（調理師） ★園児とコミュニケーションを取りながら給食を楽しみにしてもらえようようにおいしい給食を作りたい ★子どもたちとの交流の中で気づいたことを献立に生かす ★仕事の効率化を図る